

ネットワーク・コンピューティング時代の統合運用管理ソリューション SystemWalker/CentricMGR

SystemWalker / CentricMGRは、ネットワーク・コンピューティング時代に対応した統合運用管理ツールです。小規模のクライアントサーバ環境から超大規模のネットワーク環境を一か所の管理サーバから集中管理することで、運用コスト(TCO)の削減とシステムの安定稼働を実現します。

業務のライフサイクルをトータルに管理

SystemWalker / CentricMGRは、企業システムを適切に維持・管理する上で必要なソリューションを提供します。

デプロイメント、モニタリング、リカバリ、アセスメントという企業システムを維持していくためのライフサイクルを共通のフレームワークを使って管理します。

デプロイメント

【ソフトウェアの資源配付】

ネットワーク上に分散しているサーバ/クライアントにソフトウェアを配付可能です。配付方法は、管理者からの強制配付やクライアントが必要なときにダウンロードするなどの選択が可能です。

【インベントリ情報の管理】

サーバ/クライアントの空きディスク容量や搭載メモリ量などのハードウェア情報や、インストールされているソフトウェア情報を収集可能です。

【SystemWalker自身のインストールとポリシーの設定】

ネットワークに接続されたサーバ/クライアントを検出しリモートでインストールが可能です。また、監視項目や監視条件などの運用方針/運用規約(ポリシー)を一元管理し、管理サーバから個々のサーバへ配付・設定が可能です。

モニタリング

【ネットワーク・コンピューティング環境のトラブルの集中管理】

イベントログ・SNMPトラップ・指定ログファイルなどに出力するメッセージを運用管理サーバで集中管理します。また、WWWブラウザからビジュアルな管理画面で場所を選ばず監視・調査が可能です。

【アプリケーションの稼働管理】

ネットワーク上に分散された複数のサーバ上に存在するアプリケーションを、集中的に監視できます。重要なアプリケーションの稼働/停止状態や予定通りの時間にアプリケーションが稼働しているかの監視が行えます。

【業務の管理】

基幹系業務やOA系業務などを構成する、ノードやアプリケーションなどを運用管理者が業務単位にグループ化し、管理できます。複雑に構成された業務で異常が発生した場合にどの業務に影響があるか容易に把握でき、適切な優先度で復旧処理が行えます。

【ネットワークの性能管理とキャパシティプランニング】

SNMP、RMONにより回線使用率を自動抽出するとともに使用率が基準値以上になった場合は、アラームで通知します。また抽出データは、CSVファイルに出力できますので、サーバやサブネットの負荷の変化を把握でき、ネットワークのキャパシティプランニングにも利用できます。

リカバリ

【GUI操作によりトラブルシューティング】

トラブルが発生したサーバ/クライアントなどを、離れた自席のパソコンからリモートで対処可能です。また、エンドユーザーからの問い合わせにも、自席のパソコンから相手側のパソコンを操作して行えます。

アセスメント

【システムの評価】

トラブルの内容や対処方法、ノウハウ情報などのヘルプデスク情報を蓄積・共有化が可能です。また、サーバ/クライアントのソフトウェアのインストール数のチェックやライセンス管理が可能です。

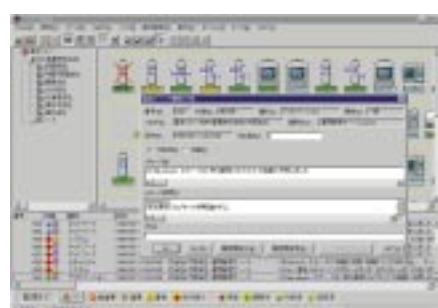
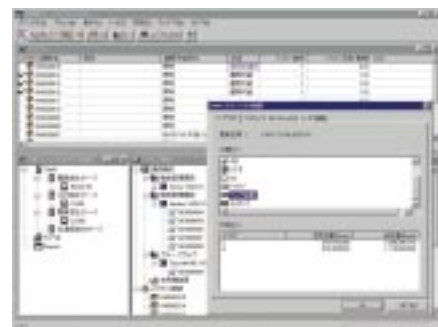
(注)ヘルプデスク情報の管理は別途DBMSが必要です。

フレームワーク

【フレームワークによるトータルな運用】

フレームワークでは、ネットワークやイベント情報を収集し、リポジトリに格納。これらのリポジトリ情報が、デプロイメント～モニタリング～リカバリ～アセスメントというシステム運用の一連の運用サイクルを保証するための基盤となります。

・インターネットで製品情報をご覧いただけます。 <http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/softinfo/pr/SYSTEMWALKER>



マルチベンダー環境のネットワーク管理プラットフォーム Fujitsu Network Node Manager for WindowsNT

Fujitsu Network Node Manager for WindowsNT は、トータルなネットワークリソースの管理プラットフォームです。ネットワークパフォーマンスの評価、障害の予測、ネットワークの拡張や再構築の計画の際、ネットワーク管理部門を強力に支援するツールです。

最新ネットワーク構成への自動更新とグラフィカルな構成管理機能

実際のネットワーク構成を、階層構造化したシンプルなマップとして表示します。また、最新のネットワーク構成を常時監視し、ノードの追加や削除、トポロジーの変更など、ネットワーク状態の変化を自動的にマップに反映します。



ネットワークダウンの回避と早急な復旧につながる障害管理機能

ネットワーク上の各ノードのステータスを定期的にチェックし、マップ上のシンボルの色の変化で表示することで、問題箇所を素早く特定します。また、障害、しきい値超過、ステータス変化などの各イベントを分類して管理者に自動通知します。

トラブル発生時の原因分析を支援する性能管理機能

SNMPをサポートするノードのMIB値を収集し、リアルタイムのパフォーマンス状況をグラフィカルに表示します。また、MIBしきい値をユーザーが定義することができるため、ネットワーク状態の柔軟な監視が可能となります。

その他の機能

Webインタフェースにより、リモートサイトから各種ネットワーク管理情報にアクセスできます。また、集中監視形態だけでなく、各拠点のFujitsu Network Node Manager for WindowsNTとの連携による階層構造管理が可能となります。さらに、保存データを外部のデータベースに出力することができ、データ管理が容易です。

ネットワーク管理をよりきめ細かく支援するアプリケーション NetEyemanagerシリーズ

NetEyemanagerシリーズは、ネットワークの効率的運用とTCO削減を実現するアプリケーション群です。プラットフォームFujitsu Network Node Manager for WindowsNTや SystemWalker / CentricMGR と連携し、ネットワーク機器の管理、アドレス管理、性能管理、帯域制御など、よきめの細かいネットワーク管理を支援します。

NetEyemanagerシリーズ製品体系

アプリケーション	富士通機器管理 NetEyemanager / LAN NetEyemanager / SH NetEyemanager / ATM-AS NetEyemanager / ATM-EW NetEyemanager / ATM-SH	他社機器管理 NetEyemanager / CiscoWorks / Extreme	運用管理 NetEyemanager / QIP : アドレス管理 NetEyemanager / NetScout : 性能管理 NetEyemanager / PacketShaper : 帯域制御 NetEyemanager / VoIP : VoIP電話番号管理
	プラットフォーム	SystemWalker / CentricMGR V5.0	Fujitsu Network Node Manager for WindowsNT V6.0
OS	WindowsNT Server 4.0		

NetEyeManagerの動作にはプラットフォームとなるソフトウェアが必要です。各ソフトウェアの連携動作 / 組合せ条件は価格表のページをご覧ください。

特長

機器管理

- 管理対象機器のポートや伝送路の状態を実機に近い機器イメージで表示
- 管理対象機器の各種障害やイベントを管理可能

アドレス管理

- DNSサーバ / DHCPサーバを自動連携し、ネットワークのIPアドレスをGUI上で一元管理
- DHCPサーバのバックアップ機能によりサービスを保証

性能管理

- RMONを収集してネットワーク伝送路やトラフィック情報を監視
- データキャプチャ、しきい値定義によるトラブル監視が可能

帯域制御

- PacketShaperによる帯域制御の設定をWebインタフェースにより簡単に
- トラフィックのクラス分け、管理ポリシーの設定によりネットワークを柔軟に管理できます。

ネットワーク監視製品

ポリシーベースでのネットワーク管理を実現 Policy Server for LAN

Policy Server for LANは、ネットワーク全体をひとつのリソースとして管理する「Policy Base Network」を実現する運用管理ソフトウェアです。設定情報の事前作成・一元管理・遠隔地からの設定などの機能をポリシーベースで行うことによりネットワークの運用管理コストを削減します。また、スケジュール管理機能により、ネットワークの設定内容を自動的に切り替えることが可能です。

設定情報の事前作成

機器の導入前に、実機と同じWeb画面で設定情報を作成することが可能。設定したデータはファイル転送によって対象機器に反映させることができます。

設定情報の一元管理

対象となる機器との間で設定情報の集信 / 配信を行い、機器の設定の一元管理をすることが可能です。この集配信にはポリシー管理に基づく部分的な情報の単位で行うことも可能です。

ネットワーク運用のスケジューリング

ネットワークの設定をスケジュール化し、帯域制御やフィルタリングなどの柔軟な運用を行うことができます。たとえば、昼間にはオンライン業務の優先した帯域保証を行い、夜間の時間帯にはバッチ処理のトラフィックを優先させるなど、時間帯に応じた運用が可能になります。

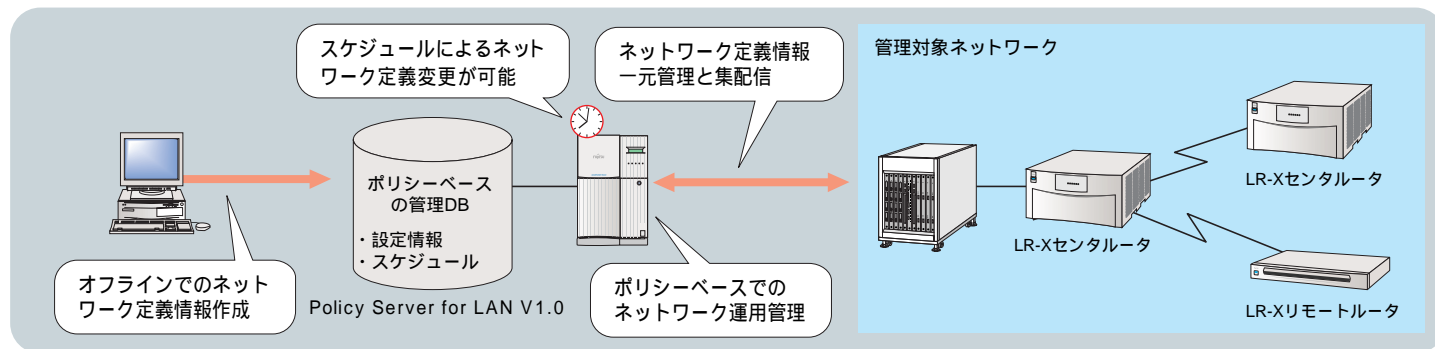
管理対象機器

機器	備考
LR-Xシリーズセンタールータ	基本ソフトウェアV2以降に対応
LR-Xシリーズリモートルータ	基本ソフトウェアV3以降に対応
SR8000シリーズスイッチングルータ	

動作環境

WindowsNT Server4.0上で動作

管理対象機器



NEWS 特定情報通信機器の即時償却制度(いわゆるパソコン税制)について

本カタログに掲載されている装置とパソコンなどを組み合わせてご購入いただくと、税制上費用として償却できる場合があります。これは、平成11年4月から平成12年3月までの1年間に限り、100万円未満のパソコンなどが全額費用処理できる「特定情報通信機器の即時償却制度」(通称:パソコン税制、パソコン減税)によるもので、ネットワーク機器もこのパソコンの周辺機器として対象となります。この詳細につきましては、お近くの税理士事務所などにご相談ください。

記載の標準価格には消費税等は含まれていません。記載の製品仕様および外観、標準価格は都合により予告なく変更する場合があります。写真は印刷のため製品の色と多少異なる場合があります。外形寸法は全て突起部を含みません。各社および製品名は各社の商標または登録商標です。

より詳細な内容につきましてはホームページをご覧ください。

URL:<http://www.fujitsu.co.jp/hypertext/Products/telcom/>

⚠️ 安全に関するご注意

ご使用の際は、「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

水、湿気、湯気、ほこり、油煙などの多い場所に設置しないでください。火災、故障感電などの原因となることがあります。表示された正しい電源、電圧でお使いください。

富士通株式会社

マーケティング本部ネットワーク販売推進統括部

〒100-8211東京都千代田区丸の内1-6-1 (丸の内センタービル)

TEL (03)3216-9245